

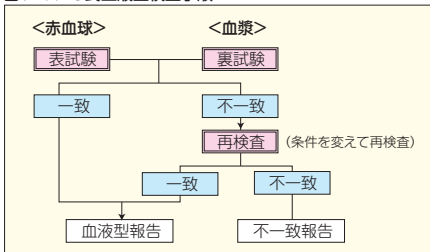
項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0313	ABO式血液型 5H010-0000-019-101-14	血液2.0	5	冷蔵	2~3	21 免疫	カラム凝集法 試験管法			血液型判定
0314	Rh式 (D) 血液型 5H020-0000-019-101-14	血液2.0	5	冷蔵	2~3	21 免疫	カラム凝集法 試験管法			血液型判定
0315	Rh-Hr式血液型 (タイピング) 5H025-0000-019-101-14	血液2.0	5	冷蔵	2~3	160 <sup>③</sup> 免疫	各特異抗血清による試験管法			血液型判定
0318	直接クームス試験 5H121-0000-018-101-14	血液1.0	5	室温	2~3	30 免疫	試験管法	陰性		輸血 自己免疫性溶血性貧血
0319	間接クームス試験 5H122-0000-023-101-14	血清1.5	1	冷蔵		34 <sup>②</sup> 免疫	カラム凝集法 試験管法	陰性		
0322	間接クームス試験定量 5H122-1352-018-101-05	血液10	13	冷蔵	2~4		試験管法	1未満 倍		
0320	不規則抗体 (赤血球不規則抗体) 5H180-0000-098-101-14	血液7.0	1	冷蔵	2~3	159 <sup>①</sup> 免疫	カラム凝集法 試験管法	陰性		血液型不適合輸血
0381	クロスマッチ (交差適合試験) 5H180-0000-018-101-11	受血者10 供血者3.0又は パイロットチューブ	13		1~2	②				

- ① 輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、第2章第10部手術第7款の各区分に掲げる胸部手術、同部第8款の各区分に掲げる心・脈管手術、同部第9款の各区分に掲げる腹部手術又はK877子宮全摘術、K879子宮悪性腫瘍手術、K889子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）、K898帝王切開術又はK912子宮外妊娠手術が行われた場合に、手術の当日に算定する。  
また、手術に際して輸血が行われた場合は、本検査又はK920輸血の「注6」に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する。  
この場合、診療報酬明細書の摘要欄に輸血歴又は妊娠歴がある旨を記載する。
- 第10部手術第7款の各区分に掲げる胸部手術、同部第8款の各区分に掲げる心・脈管手術、同部第9款の各区分に掲げる腹部手術又は同部第11款の各区分に掲げる性器手術のうち区分番号K898に掲げる帝王切開術等を行った場合に算定する。
- ② 輸血に伴って、血液交叉試験又は間接クームス検査を行った場合は、1回につき30点又は34点をそれぞれ加算する。
- ③ Rh (その他の因子) 血液型については、同一検体による検査の場合は因子の種類及び数にかかわらず、所定点数を算定する。

### 【ABO式血液型】

- 生後1歳までは、血液中の抗体価が低いため表試験のみでの報告となります。  
1歳未満の幼児の場合、必ず月齢あるいは生年月日を検査依頼書にご記入下さい。
- 表試験・裏試験の結果が一致した場合のみ、血液型を報告致します。
- 表試験・裏試験が一致しない場合には「不一致」、反応が通常と異なる場合には「判定保留」と報告致します。
- 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意ください。

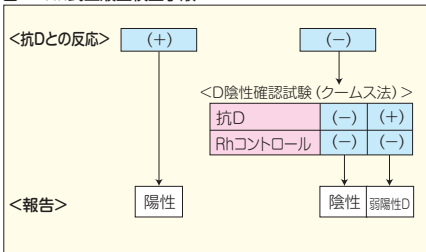
図1 ABO式血液型検査手順



### 【Rh式血液型】

- 抗Dには、モノクローナル抗体を使用しています。
- 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますのでご注意ください。

図2 Rh式血液型検査手順

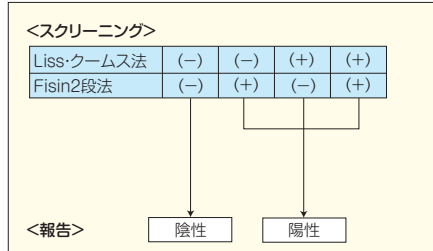


### 【不規則性抗体】

日本輸血学会の「赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン」を参考にしています。

- 本検査は、37℃で反応する血清中の不規則性抗体の検出を目的としています。
- クームス法は多特異性クームスを使用したLiss・クームス法を、酵素法はFisin 2段法を実施致します。  
上記の検査法以外で予め検査実施し、改めて当社に検査を依頼された場合、検査手法に基づく反応性の違いによりデータが乖離する例があります。
- パネルセルとの反応の強さやパターンによって、存在する不規則性抗体を同定できない場合があります。
- 希な抗体は、同定できない場合があります。
- 最近輸血を受けた患者では、正しく判定できない場合があります。
- 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますのでご注意ください。
- 検体の状態によっては、カラム凝集法以外の検査法を実施する場合があります。

図3 不規則性抗体検査手順



### 【間接クームス法】

- クームス法は多特異性クームスを使用したLiss・クームス法を実施致します。
- 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意ください。
- 検体の状態によっては、カラム凝集法以外の検査法を実施する場合があります。

### 【直接クームス法】

- クームス法には多特異性クームスを使用致します。
- 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意ください。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0357	<b>α1アンチトリプシン</b> 5C020-0000-023-063-01	血清0.3	1	冷蔵	3~5	80 血液	ネフェロメトリー法	mg/dL 94~150	※02	感染症 悪性腫瘍 膠原病 肝疾患
1108	<b>レチノール結合蛋白 (RBP)</b> 5C030-0000-023-062-01	血清0.5	1	冷蔵	3~5	140 免疫	ラテックス凝集比濁法	mg/dL M:2.7~6.0 F:1.9~4.6	※02	ビタミンA欠乏症 肝疾患 腎不全
2278	<b>β2-ミクログロブリン (BMG)</b> 5C065-0000-023-062-01	血清0.3	1	冷蔵	1~2	110 免疫	LA法	mg/L 0.9~2.0		腎不全 糸球体腎炎
2279	<b>尿中β2-ミクログロブリン (U-BMG)</b> 5C065-0000-001-062-01	尿1.0	2	冷蔵	2~3	110 免疫	LA法	μg/L M:13~287 F:20~276	pHが5.5~7.5になるよう0.5N水酸化Naまたはアンモニア水で調整して提出 ※33	ネフローゼ症候群 悪性腫瘍
1092	<b>ハプトグロビン (Hp)</b> 5C040-0000-023-063-01	血清0.5	1	冷蔵	3~5	144 免疫	ネフェロメトリー法	mg/dL 1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176	※02	炎症性疾患 (感染症、膠原病など) 悪性腫瘍 溶血性疾患 肝疾患 (急性肝炎、肝硬変)
5237	<b>血清アミロイドA蛋白 (SAA)</b> 5C080-0000-023-062-01	血清0.3	1	冷蔵	1~2	47 免疫	LA法	μg/mL 8以下		ウイルス感染症 症性疾患 続発性アミロイドーシス
1094	<b>C反応性蛋白 (CRP定性)</b> 5C070-1351-023-062-11	血清0.3	1	冷蔵	1~2	16 免疫	LA法	(-)		細菌感染症 炎症性疾患 心筋梗塞 悪性腫瘍
1059	<b>C反応性蛋白 (CRP定量)</b> 5C070-0000-023-062-01							mg/dL 0.30以下		関節リウマチ ウイルス感染症 (上昇は軽度)
0347	<b>トランスフェリン</b> 5C060-0000-023-061-01	血清0.3	1	冷蔵	1~2	60 免疫	TIA法	mg/dL 262~410		鉄欠乏性貧血 溶血性貧血 肝硬変
5270	<b>セルロプラスミン</b> 5C045-0000-023-063-01	血清0.3	1	冷蔵	3~5	90 免疫	ネフェロメトリー法	mg/dL 21~37	※02	膠原病 貧血 肝・胆道疾患 悪性腫瘍 ウイルソノ病
5525	<b>C1-インアクチベータ</b> 5B045-0000-022-315-01	血漿0.2	23	冷蔵	3~9	276 免疫	発色性合成基質法	% 70~130	採血後速やかに血漿分離して下さい。 ※02	SLE 急性炎症性疾患 関節リウマチ
5274	<b>α2-マクログロブリン (α2-MG)</b> 5C035-0000-023-063-01	血清0.3	1	冷蔵	3~5	138 血液	ネフェロメトリー法	mg/dL M:100~200 F:130~250	※02	慢性肝疾患 ネフローゼ症候群 DIC
5276	<b>ヘモペキシン</b> 5C055-0000-023-063-01	血清0.5	1	冷蔵	7~10	180 免疫	ネフェロメトリー法	mg/dL 63~109	※01	炎症性疾患 膠原病 悪性腫瘍 溶血性疾患
0354	<b>α1-ミクログロブリン</b>	血清0.6	1	冷蔵	2~3	144 免疫	ラテックス凝集法	mg/L 男:10.6~20.9 女:9.6~18.6	※33	腎不全 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群
0356		尿1.0						2		
5262	<b>プレアルブミン (トランスサイレチン)</b> 5C010-0000-023-063-01	血清0.5	1	冷蔵	3~4	110 免疫	ネフェロメトリー法	mg/dL 22.0~40.0	※01	栄養不良 慢性肝障害
2150	<b>肝細胞増殖因子 (HGF)</b> 4Z315-0000-023-023-01	血清0.3	1	(分離後) 凍結	3~5	227 生I	ELISA法	ng/mL 0.40以下	※02	劇症肝炎

- ① 血清アミロイドA (SAA) 蛋白をC反応性蛋白 (CRP) 定性又はC反応性蛋白 (CRP) 定量と併せて測定した場合は主たるもののみ算定する。
- ② 肝細胞増殖因子 (HGF) は、ELISA法により、肝炎にて劇症化が疑われる場合又は劇症肝炎の経過観察に用いた場合のみ算定する。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
1404	トロンボモジュリン <small>2B730-0000-023-023-01</small>	血清0.6	1	冷蔵	3~9	205 <sup>①</sup> 血液	EIA法 (プレート固相法)	FU/mL M:2.1~4.1 F:1.8~3.9	※01	DIC 膠原病	
1089	C3 (β <sub>1</sub> C/β <sub>1</sub> Aグロブリン) <small>5B023-0000-023-061-01</small>	血清0.2	1	冷蔵	1~2	70 免疫	TIA法	mg/dL 65~140		SLE 急性糸球体腎炎 C3欠損症	
1090	C4 (β <sub>1</sub> Eグロブリン) <small>5B024-0000-023-061-01</small>	血清0.2	1	冷蔵		70 免疫	TIA法	mg/dL 11~35		SLE DIC 慢性増殖性腎炎 肝硬変症 C4欠損症	
1085	免疫グロブリン-G (IgG) <small>5A010-0000-023-061-01</small>	血清0.2	1	冷蔵	1~2	38 免疫	TIA法	mg/dL 890~1950		慢性活動性肝疾患 膠原病 急性感染症(後期) 慢性感染症 IgG型多発性骨髄腫	
1453	IgGサブクラス分画 <small>5A050-0000-023-063-01</small>	血清0.4	1	冷蔵	3~7		ネフェロメトリー法	IgG1 320~746 mg/dL IgG2 208~754 IgG3 6.6~88.3 IgG4 4.8~105	※02		
4902	IgG4 <small>5A058-0000-023-063-01</small>	血清0.4	1	冷蔵	5~12	388 <sup>⑤</sup> 免疫	ネフェロメトリー法	mg/dL 4.8~105	※02	アトピー性皮膚炎 IgG4型多発性骨髄腫	
1084	免疫グロブリン-A (IgA) <small>5A015-0000-023-061-01</small>	血清0.2	1	冷蔵	1~2	38 免疫	TIA法	mg/dL 120~420		慢性肝炎 慢性感染症 膠原病 IgA腎症 IgA型多発性骨髄腫	
1086	免疫グロブリン-M (IgM) <small>5A020-0000-023-061-01</small>	血清0.2	1	冷蔵		38 免疫	TIA法	mg/dL 70~270		肝疾患 感染症初期 膠原病 原発性マクログロブリン血症	
1087	免疫グロブリン-D (IgD) <small>5A025-0000-023-062-01</small>	血清0.4	1	冷蔵	3~5	38 免疫	ラテックス 凝集免疫法	mg/dL 9.0以下	※02	IgD型多発性骨髄腫	
5217	心室筋ミオシン軽鎖I <small>5C092-0000-023-023-01</small>	血清0.5	1	冷蔵	3~5	184 <sup>②</sup> 生I	EIA法	ng/mL 2.5以下	※02	心筋梗塞 心筋炎	
0157	クリオグロブリン <small>5A160-0000-023-920-11</small>	血清2.0	1	冷蔵	4~6	42 免疫	寒冷沈殿法	(-)		探血時の注意: 採血時から血清 分離は37℃保 温状態で行って 下さい。 全血での冷蔵保 存は厳禁	膠原病 多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症 肝疾患 ループス腎炎 糸球体腎炎
2345	パイログロブリン <small>5A155-0000-023-920-11</small>	血清1.0	1	冷蔵	3~4		56℃加熱法	(-)		多発性骨髄腫 マクログロブリン血症 悪性腫瘍	
2496	血小板関連IgG PA-IgG 予約検査 <small>5G525-0000-019-023-01</small>	血液7.5 (ACD-A液加)	68	冷蔵	4~6	204 <sup>③</sup> 免疫	ELISA法	ng/10 <sup>7</sup> cells 46以下	受託可能日は月~木 曜日です。祝祭日の前日 は不可です。末梢血 の血小板が3.0×10 <sup>4</sup> /μL以下の場合、 専用容器2本を使用 し必ず10mL以上採 血してください。 ※02	特発性血小板減少性 紫斑病 SLE	
4563	シアル化糖鎖抗原 (KL-6) <small>5C210-0000-023-053-01</small>	血清0.3	1	冷蔵	3~5	120 <sup>④</sup> 生I	ECLIA法	U/mL 500未満	※33	間質性肺炎	
4562	肺サーファクタント プロテインD (SP-D) <small>3F253-0000-023-052-01</small>	血清0.3	1	冷蔵	3~4	140 <sup>④</sup> 生I	CLEIA法	ng/mL 110.0未満	※01	特発性間質性肺炎 膠原病関連間質性肺炎	
4847	肺サーファクタント プロテインA (SP-A) <small>3F250-0000-023-052-01</small>	血清0.6	1	冷蔵	3~4	130 <sup>④</sup> 生I	CLEIA法	ng/mL 43.8未満	※01	間質性肺炎 炎症性肺疾患	

- ① トロンボモジュリンは膠原病の診断若しくは経過観察又はDIC若しくはそれに引き続いて起こるMOF観察のために測定した場合のみ算定できる。
- ② 心室筋ミオシン軽鎖Iは、同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。
- ③ 血小板関連IgG (PA-IgG) は、特発性血小板減少性紫斑病の診断又は経過判定の目的で行った場合に算定する。
- ④ シアル化糖鎖抗原 (KL-6)、肺サーファクタント蛋白-A (SP-A) 及び肺サーファクタント蛋白-D (SP-D) のうちいずれか複数を実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ⑤ ネフェロメトリー法又はTIA法による。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血漿蛋白関連検査	4510 IV型コラーゲン 5C134J-0000-023-062-01	血清0.5	1	冷蔵	3~4	144 <sup>①</sup> 生I	ラテックス凝集法	ng/mL 140以下	※01	悪性腫瘍 急性肝炎 活動性慢性肝炎 肝硬変 アルコール性肝障害
	5501 IV型コラーゲン7S 5C135-0000-023-001-01	血清0.5	1	冷蔵	4~6	152 <sup>①</sup> 生I	RIA法 (2抗体法)	ng/mL 6以下	※02	悪性腫瘍 急性肝炎 活動性慢性肝炎 肝硬変 アルコール性肝障害
	2462 P-III-P (プロコラーゲンⅢペプチド) 5C130-0000-023-005-01	血清0.3	1	冷蔵	3~5	144 <sup>①</sup> 生I	RIA固相法	U/mL 0.3~0.8	※02	多発性硬化症 髄膜炎 パーチエット病
	2343 ミエリン塩基性蛋白 (MBP) 5G410-0000-041-023-01	髄液0.3	2	(分離後) 凍結	4~10	601 <sup>④</sup> 尿糞	ELISA法	pg/mL 102以下	※02	多発性硬化症 髄膜炎 パーチエット病
	2257 オリゴクローナルバンド 5A150-0000-041-233-49	髄液0.5	2	冷蔵	5~9		アガロースゲル電気泳動法	検出せず	※02	多発性硬化症 ウイルス性脳炎
	0156 心筋トロポニンT 5C093-0000-023-053-01	血清0.5	1	(分離後) 凍結	3~5	120 生I	ECLIA法	0.014以下 ng/mL 急性心筋梗塞診断のカットオフ値 0.100	※02	心筋梗塞 不安定狭心症
	1091 血清補体価 (CH50) 5B010-0000-023-070-01	血清0.5	1	冷蔵	1~2	38 免疫	リボソーム免疫測定法	U/mL 31.6~57.6	血清分離後、直ちに凍結保存。全血での冷蔵は不可	膠原病 感染症 腎炎
	2341 ミオグロビン	血清0.5	1	冷蔵	3~5	147 <sup>⑤</sup> 生I	CLIA法	ng/mL 男性:154.9以下 女性:106.0以下	(部分尿) 採尿後、速やかに専用容器に入れ、冷蔵してください。凍結は避けてください。 ※02	心筋梗塞 筋ジストロフィー症
	2342 5C090-0000-023-051-01 5C090-0000-001-001-01	部分尿6	49	冷蔵	3~6	147 <sup>⑤</sup> 生I	RIA法 (2抗体法)	ng/mL 10以下	※02	心筋梗塞 筋ジストロフィー症
	2280 フェリチン 5C095-0000-023-051-01	血清0.5	1	冷蔵	1~2	114 生I	CLIA法	ng/mL M:17.0~291.5 F: 6.4~167.1		鉄過剰症 鉄欠乏症 骨髄性白血病

免疫電気泳動	0348 免疫電気泳動 (IEP) (抗ヒト全血清による) 5A135-0000-023-081-00	血清0.5	1	冷蔵	7~14	210 <sup>②③</sup> 免疫	免疫電気泳動法			M蛋白血症 骨髄種 ALアミロイドーシス 慢性リンパ性白血病 B細胞性リンパ腫
	0349 免疫電気泳動 (IEP) (抗ヒト特異血清による) 5A135-0000-023-085-00									M蛋白の重鎖クラスおよび軽鎖の型 (κ, λ) の同定
	2411 血清免疫固定電気泳動 5A135-0000-023-085-00									M蛋白の重鎖クラスおよび軽鎖の型 (κ, λ) の同定
	2412 尿免疫固定電気泳動 5A135-0000-001-085-00	尿10	2・7	冷蔵	209 免疫				多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症 原発性アミロイドーシス	
	0350 尿中免疫電気泳動 (IEP) (ヘンシュローズ蛋白の同定) 5A145-0000-001-081-49									

- ① IV型コラーゲン又はIV型コラーゲン・7Sは、プロリルヒドロキシラーゼ (PH) 又はプロコラーゲンⅢペプチド (P-III-P) と併せて行った場合には、一方の所定点数のみ算定する。
- ② 免疫電気泳動法によってIgA、IgM及びIgGを同時に測定した場合は、1回の検査として免疫電気泳動法により算定する。
- ③ 免疫グロブリンL鎖κ/λ比と免疫電気泳動法を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ④ IgGインデックス、オリゴクローナルバンド及びミエリン塩基性蛋白 (MBP) (髄液) は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。
- ⑤ 心臓由脂肪酸結合蛋白 (H-FABA) 定性又は定量とミオグロビン定性又は定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

